

藤井

隆
編

漢文抄

伝中院通勝筆本 下

古
典
文
庫

藤井 隆 編

読心く草抄

伝中院通勝筆本 下

古典文庫

昭和六十二年八月二十日印刷発行 非売品

編者 藤井 隆

発行者 吉田 幸一

印刷者 白橋印刷所

抄院命寿草然徒
本筆勝通中院伝

発行所

114

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話(九一〇)二七一七
振替口座東京九・一四五七七番



中院通勝卿

徒然草抄一冊
壽命院抄也



花さくら月くらめさそをわさるゆかり
のいとし字の箇書をも盤月ノミナキスツルヲ勿論
くよめたうもりまきまの行梅阿字くえ曲トミ

一 たぎこころそまの好くを

おめれそそまのりもさるめさる一梅さくらい

一 かさくろのゆ／＼いふかきそそきと種ノ字也

一 菊のまきむ 月ものこさうぶタコトさくもつ字のさ

一 とくそれらゆり／＼あもさるいなり

一 ろくそやみ 是よりさぬむトいふうらまてとさ

るうさに見ふうがれ情ノ厚き

一 まさの井とちいなり 左様へ偏みさく

げさるそそをさる井もぬれと

試みるにすゝめある

一 くら月のちほあると くら月ハス長月也

ヒヤク望月 日ト月トわくら月也又望月満ちほみえぬ也

一 くら月のちほあると

スス長月新月色 くら月也

一 くら月のちほあると くら月ハス長月也

くら月ハス長月也 くら月ハス長月也

くら月ハス長月也

一 くら月のちほあると 自不轉捨ト云頼ぐ

くら月ハス長月也

大井川名はみりや士と云ふに案よりあて

一 くら月のちほあると くら月ハス長月也

くノえこころを論えや

まつりふ契を系し四月二番々目也

一 様敷ぬきよりとて 系つた侍や様か居る

系利とまじり

一 けりといふこのけりて奥丸なり様か俄に我

サキニトのりたり

一 きののくゆりけり けりて けりてのきりて

同ナリつ、ミのあえん同ナリ

一 けりいけりて けりてのきりて

一 けりてのきりて けりてのきりて

一 けりてのきりて けりてのきりて

一 けりてのきりて けりてのきりて

夕暮にらりかりき大海より一もーてり

「そら」
核をのり具へ

「世のありと」
今日世百ヲ川ウケテ

「大海より」
衆人海ノ神ヲ見えん世間盛衰

「物ノ衰」
知フ事えしむ心也

「ちり」
巨と寄る多也 源於新衆

「いん」
ふりせん後 是より考ふや文けり世人

か我より先死後我死トスるより入りしは

はけり也アト云ふ事ノ富也 是れ人ノ世也

ノ

「大海より」
入海刻水ノモリツる喻也

「さう」
満ニツクニえん也

一むつぎをいふもの 棺ヲツクリて賣者也

雅南子廿四曰 彌南棺者 歎民之疾痼也

柩ト棺ト同棺 和名集云音貫此度改之所盛死也

和名云いふことしとよじつさるゝ五音ねむなり

いふこと彌南字を賣也夫へ入ル棺ヲ作りてらるゝなり

と云ふことあふらんち云々

一 ぬゝゝゝゝゝゝゝゝ

二 一。三。五。二。二。四。一。一。三。一。二。二。一。

是ヨリヨミ始メテ又ミアタナナリ

一 まゝき 既ニミナトヨム

一 けしりめ 是ヨリ武士モ初め死スル通ハ不定也ト云

本
書
多
り
光
澤
ス
ベ
キ
ニ
ヤ

ニ
おもしろいねむい後のうらも

是も余の實に云ふにウリノムク月の中ノ白日也昔も夢
ろけニウリ常日ノムクついで桂の蔭にウリウリウリ云々
根源ニ入るに林中ノ病家ノ原其外ノ其具文書
等々ニモヤル云々栄雅ノ云々云々云々云々云々云々云々云々

いふやうなうらもいふやうなうらもいふやうなうらも

一 後のうらもいふやうなうらもいふやうなうらも

いふやうなうらもいふやうなうらも

一 後のうらもいふやうなうらもいふやうなうらも

いふやうなうらもいふやうなうらも

一 月のうらもいふやうなうらもいふやうなうらも

いふやうなうらもいふやうなうらも

「うさぎのしし書にがなほりいさうてわが
 今さしやめしける女がわらうあいていふあ
 日ほろりしる
 いやあちあひしへさるもはらのさるもさるわ
 おさうあひいのかさあひいさるもさるわ
 続々

一 柳あも

伊勢物語 作三冊アリ

一 色いしな

新玉五月五日に神懸し以五色糸に

お様鬼せ又名長今續之白續今續 見于正宮集

一 町のあまうさきものねね 町長明作 四巻アリ

一 枇杷のうさぎ 町長明作 四巻アリ

一 おさうあひい

千載集

千載集

おやうき原のむらさきでわめおのれをわめ

ち

津波

おやうき原のむらさきでわめおのれをわめ

佐野水原寺ありやま草より生えぬと云ふやうに

佐野

三
おゝありいゝな

一 八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
いゝのまねーのまねー八重橋いゝのまねーいゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 八重橋いゝのまねー
八重橋いゝのまねー

一 ちん

業

いふまじい通

一 二

うやうやうと

一 ちん
いふまじい通
うやうやうと
ちん

打

細

針

一 ちん
いふまじい通
うやうやうと
ちん

いふまじい通

五
建礼門の竟蓮上人

一 ちのめんり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや
一 ちのめんのめり 幸双 六 平太夫さうがふきや